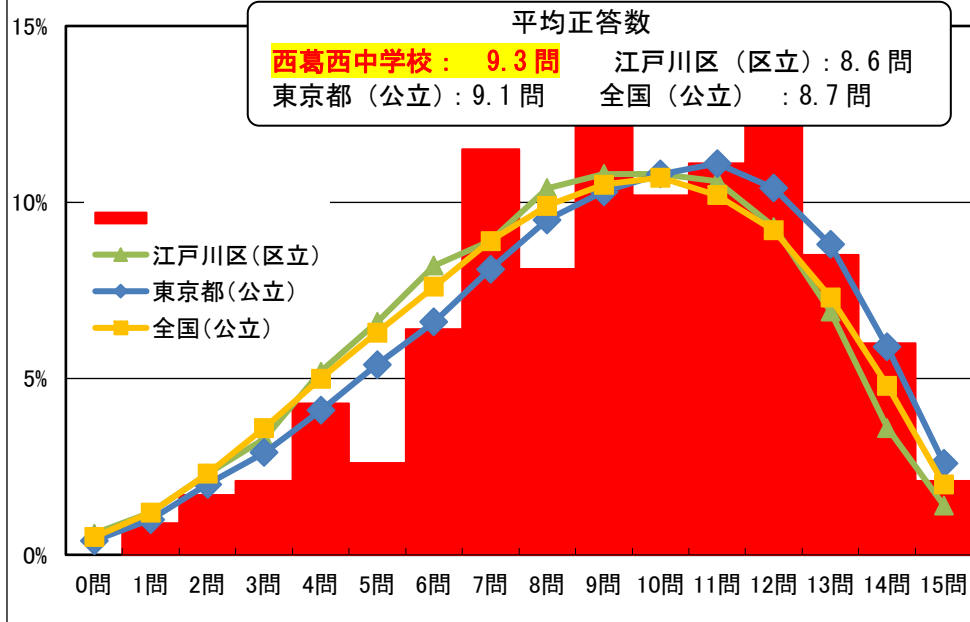
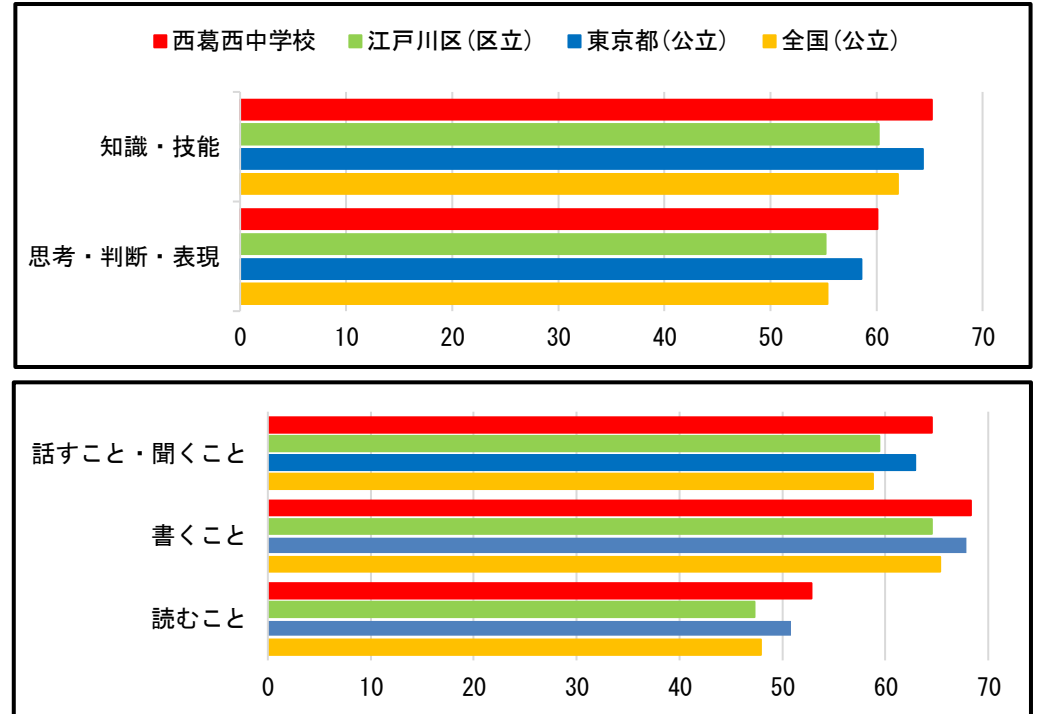


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】西葛西中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
西葛西中学校	28.9	33.6	19.6	18.0
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

西葛西中学校	62%
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	1ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

評価の観点で、知識・理解で+0.8%、思考・判断・表現で+1.5%、学習指導要領の領域では、話すこと・聞くことで+1.6%、書くことで+0.4%、読むことで+2.0%、といずれも東京都の平均を上回った。国語の学習では、書くことに重点を置いて、意見文や作文の指導を推進する。読解のポイントや表現の方法を身に付けさせる。話すこと・聞くことにおいて、段階に合わせて目標を提示する。場に応じて適切な語句や表現を選ばせ、客観的な視点を持たせる。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。